

平成 28 年 9 月 30 日

各 位

会 社 名 シャープ株式会社  
代表者名 取締役社長 戴 正 呉  
(コード番号 6 7 5 3)

### 有機ELディスプレイに関する設備投資のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、有機ELディスプレイのパイロットラインにおける設備投資について、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 1 設備投資の理由

有機ELディスプレイは、バックライトとカラーフィルターを必要とする液晶ディスプレイとの比較において、原理的に薄く、高輝度で、かつ色鮮やかなディスプレイとなり得ることから、スマートフォンや車載向け、薄型テレビ向けなどのディスプレイ製品でのシェア拡大が見込まれています。また、紙のように丸めたり、折り曲げたりすることのできるフレキシブル有機ELディスプレイの実現は、ディスプレイ製品のデザインや用途を変革し、新市場の創造に寄与すると考えております。

当社は、これまで長年培ってきた液晶ディスプレイ技術を最大限活用し、有機ELディスプレイの研究開発を行ってきましたが、鴻海精密工業グループからの出資完了を受けて、さらに生産体制の構築に向けて様々な検討を進めてまいりました。

かかる中、当社は本日、有機ELディスプレイのパイロットライン構築に向け、総額約574億円の設備投資を行う事について決議いたしました。本設備により、主として本格的な量産に向けた生産ノウハウの蓄積や歩留り向上等の生産技術の開発を行います。また、小規模な生産も行い、顧客に対し製品を出荷してまいります。

#### 2 設備投資の内容

三重事業所（三重県多気郡多気町五佐奈1177番地の1）及び堺事業所（大阪府堺市堺区匠町1番地）において、有機ELディスプレイに係るバックプレーン工程（基板にTF T回路等を薄膜形成する工程）、有機EL工程（バックプレーンに有機EL材料を蒸着する工程）、実装工程（駆動用ICなど周辺部品を搭載する工程）の設備を導入するため、約574億円を投資いたします。

稼働時期は、平成30年4－6月を予定しております。

#### 3 今後の見通し

本設備投資による平成29年3月期連結業績への影響は軽微です。今後業績への影響が見込まれる場合には必要に応じ適切に開示してまいります。

以 上